

大阪経済記者クラブ

報道資料提供

お問い合わせ

(財)関西情報・産業活性化センター
総務企画グループ 担当：横尾
TEL：06-6346-2441 FAX：06-6346-2443

関西情報化功労者表彰の実施について

財団法人関西情報・産業活性化センター(KIIS/会長 川上哲郎(社)関西経済連合会・相談役)は、関西において情報化促進に貢献された個人、企業、団体を表彰する「関西情報化功労者表彰制度」を創設しましたが、このたび第4回表彰式を開催します。

表彰式は、10月8日(水)ホテルグランヴィア京都にて関西情報・産業活性化センター主催のITシンポジウム(インフォテック2008 : <http://www.kiis.or.jp/infotech2008/>)で行います。表彰は下記の通りで、近畿経済産業局長表彰1件、関西情報・産業活性化センター会長表彰3件の合計4件です。

記

1. 近畿経済産業局長表彰

吉田 稔 氏 (西宮市)(よしだ みのる)

(経歴)

1971年に西宮市に入庁し、電子計算課に配属。情報システム課長補佐、情報システム課長、情報化推進部長、電子自治体推進担当理事を経て、2008年3月に退職。現在西宮市CIO補佐官、西宮市情報センター長。

(表彰内容)

西宮市の情報部門の責任者として、職員を指導し、市庁内の情報化人材の育成に尽力するとともに、庁内を横断する行政システム構築にリーダーシップを発揮した。また業者丸投げでなく自己開発で情報システムの整備を進めることにより市民ニーズにあった市民本位のシステムの構築を主導した。

阪神・淡路大震災の際も自己開発により被災者支援システムを構築し、被災自治体ならではの情報化ノウハウを盛り込んだ。このシステムはLASDEC(財団法人地方自治情報センター)のプログラムライブラリにも登録され、無償で他自治体へ提供され社会貢献に寄与している。

2. 関西情報・産業活性化センター会長表彰

・アークライト・ソフト株式会社

(設立1991年 大阪市北区 社長 平 正行氏)(たいら まさゆき)

(事業内容)ソフトウェアの開発。組み込みソフト要員育成塾の運営

(表彰内容)

教育力に劣る中小ソフトハウスの人材育成代行と、職を求めるフリーター・第2新卒の能力向上両面を目的として、組込ソフト技術者育成塾を開催し、情報化人材の育成に貢献した。

具体的には、関西電子情報産業協同組合・ビジネスリンク事業や組込み総合技術展関西(ET-WEST)で広報して同業他社から受講生を受入れ、技術者育成事業を展開している。

これまで公募で20社以上から45名受入教育を行い、自社分・公募以前からの他社分を含め合計85名教育実績を持つ。組み込みソフトの技術者は、補助金などを活用して実施している高度な技術者養成とは異なり、現在わが国では大幅に不足している。こうした需要不足に対応し、ここでは現場で即戦力として役立つ組込ソフト技術者養成を行っている。

・特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 西日本支部

(設立 2001年 西日本支部長 井上 陽一氏)(いのうえ よういち)

(事業内容)

西日本におけるネットワーク社会のセキュリティレベルの維持・向上。特に中小企業の情報セキュリティレベル向上。

(表彰内容)

自社の個人情報保護対策状況を把握するため、中小企業にも利用しやすいチェックシートを開発。東洋経済の会社名鑑より、関西企業(製造業中心)約430社にアンケート送付、約100社より回答。未回答企業へは、チェックシートの使いにくい点を問う等アフターフォローを実施し約50件の追加回答を得た。

内部統制における情報セキュリティ状況の調査

中小企業対象では、「セキュリティ」を前面にだした調査では回答しにくいため、情報資産管理台帳を埋めていくことにより自社の情報セキュリティ状況を見られるモデルシートを開発した。

ものづくり関西の実態に合わせ、地域及び業種業態別に調査。(金型業界、豊岡靴業界、八尾プラシ業界、清酒業界等)本件は、自治体との連携で調査を進め、周辺自治体を巻き込んで広域連携展開。

いずれの調査においても、中央からのシートばらまきアンケートではなく、ユーザ側に立って地方からの声を汲み上げる調査を実施し、関西の実体把握と活性化に努めた。

・川端 一輝 (有限責任事業組合 ITC-Labo. 代表理事)(かわばた かずき)

(経歴)

関西学院大学文学部心理学科卒。神戸大学経営学部第 課程経営学科中退

現在、日本ネサマック株式会社代表取締役社長(ソフトウェア開発業)、有限責任事業組合 ITC-Labo. 理事長。

(表彰内容)

ITコーディネータ制度設立と同時にITCインストラクタを務め、以来300名以上のITコーディネータ育成に貢献している。単に教育だけにとどまらず、実践活動を通じてOJTによる成長支援も積極的に展開し、こうして能力向上を図ったITコーディネータの数も約20名にのぼる。

一方、ITコーディネータとしては50社を超える企業の戦略的情報化を支援し、フジ矢株式会社・株式会社紅屋をはじめとして多数の成功事例を輩出させている。

こうした活動を元に、本年開催した「IT経営カンファレンス2008 in 関西」では、協力するITC38名を束ねて実行委員長として尽力し、参加者350名を集め大成功を収めた。

以上